

## 赤山地下壕

施設管理者 : 館山市  
施設所在地 : 千葉県館山市  
調査見学時期 : 平成 28 年 6 月 26 日 (日)  
施設概要 :

1930 (昭和 5) 年、海軍 5 番目の実践航空部隊として館山海軍航空隊が作られ、終戦までの間、館山市香から沼にかけての一带には、航空機の修理部品の補給などを行った第 2 海軍航空廠館山補給工場、食料・衣服・燃料などを補給した横須賀軍需部館山支庫関係の施設や、兵器整備の練習航空隊として洲ノ崎海軍航空隊など、館山市には様々な軍事施設が作られました。

赤山地下壕は、総延長約 1.6km と全国的に見ても大きな地下壕であり、館山市を代表する戦争遺跡の一つであります。この地下壕の建設に携わった旧館山海軍航空隊兵士の複数の証言から、1944(昭和 19)年以降に建設工事が開始されたことや、終戦の日まで工事が行われ、未完成であること等が明らかになってきています。

全国各地に建設された大規模な地下壕同士の一般的な離隔距離は 10~20m 以上であります。この赤山地下壕は 5~10m と狭い上、計画的に建設されたとは考えにくく、終戦がさし迫った 1944 (昭和 19) 年より後に建設されたと考えられています。

館山海軍航空隊の防空壕として使用されていたことは、内部にある発電所跡や、終戦間際に軍の事務を行ったという体験や、病院施設があったなどの証言から知ることができます。



地下壕平面図(案内板に記載)

(GECニュース第323号より抜粋)



地下壕内